

神奈川県立自然保護センター（厚木市七沢）の 野外施設に産するクモ類について

新海栄一*・高橋 登*・笹岡文雄*・貞元巳良*

Notes on the Spiders in the Kanagawa Prefectural Nature Conservation Center
(Nanasawa, Atsugi - city)

Eiichi SHINKAI*・Noboru TAKAHASHI*・Fumio SASAOKA*・Miyoshi SADAMOTO*

はじめに

神奈川県立自然保護センターは厚木市七沢に位置し、本館、飼育ゲージ等関連施設、並びに約13 haにおよぶ野外施設がある。野外施設は緑化見本園、昆虫の森、野鳥の森、苗畑、水鳥の池、ホタルの里、湿生植物園、けもの森などから形成されている。

本調査は、同野外施設における自然環境の保全等の基礎資料を得るための一環として、自然保護センターの委託を受けて七沢クモ研究会が実施したものである。調査対象は自然保護センターの本館、周辺建物の壁面、並びに野外施設内である。

本文に入るに先立ち、調査並びに資料収集にご協力いただいた佐藤幸子、池田博明、谷川明男、赤羽尚夫、篠原宏、川村優子、藤井桂子の諸氏に深く感謝申し上げます。

調査地域の概要（図1）

自然保護センターは丹沢山塊の東側山麓に位置し、面積は約13 ha、標高は約80～110 mである。地形的には起伏に富んでおり、谷戸の南側に沿って西から東にかけてたたら沢と呼ばれる小さな沢が流れ、その周囲の傾斜地に存在する林と丘陵部上部の平坦地からなっている。たたら沢沿いには水田の跡地を利用した湿地や池沼が作られており、周囲の林は、コナラ、クヌギの落葉広葉樹を中心に、イヌシデ、ミズキ、アラカシなどの混生した雑木林であり、林の下部にはアズマネザサが密生している。また斜面の一部にはスギ、ヒノキの植林地もあり、台地上には緑化見本園が造られている。

調査方法

調査は1992年5月23日、9月5日、11月23日、1993年3月20日に本調査を行い、1992年9月27日、1993年6月6日に一部補充調査を行った。採集、観察方法はラインセンサス（200～300 m/hr）による見つけ採り法、ビーティング法、スウィーピング法を用い、冬期調査では落葉、土壌性のクモについてシフティング法によって抽出している。採集個体数は最小限にとどめているが、採集したクモは75%エチルアルコールによる液浸標本として保存している。同定は双眼実体顕微鏡またはルーペ（25倍）にて行い、すべて種のレベルまで同定している。

調査環境は建物の壁面、軒下、門扉、フェンス、側溝、ガードレール、道路沿いの崖地、

林縁、林内の樹木の枝葉間、樹皮面、樹皮下、樹間、草地の葉や花の間、草地・芝生の根元付近、見本圃の生垣の間、木橋の周囲、溪流上、溪流付近の植物間、溪流中の石・倒木・枯木・草と水面の間、池沼の水面、池沼中の植物間、周囲の植物間、湿地の低木間・草間、湿地上のグレーチング道のすき間、道標、説明書看板の周囲、木製ベンチの下側、林内の下草間、落葉・土壌中、樹木の枝にかかっている枯葉中などほぼ全環境におよんでいる。

調査結果

今回の調査で記録されたクモ類はリストに示した31科186種である。

この数字は、関東地方南部の1,000 m以下の山地及び丘陵地において、年間調査(各季1回、年4回)を実施した場合の平均採集種類数146種(東京蜘蛛談話会の15年間の調査による)より40種も多く、さらに地域別の出現数で比較してみても、三浦半島返子市神武寺(152種)、秦野市大倉周辺(162種)、東京都八王子市高尾山(157種)のいずれの地域よりも多くなっている。これは当センター野外施設の環境が変化に富んでいること、並びにそれぞれの自然環境が極めて良好な状態に保たれていることが、この様な多くの種の生息を可能にしている原因と考えられる。

出現種の概略(注目種について)

○カネコトタテグモ

崖地に横穴を掘り、入口に両開きの扉を付ける地中性のクモ。神奈川県、東京都、埼玉県の山地、丘陵地の自然環境の良好な崖地に生息し、特に神奈川県内には数か所の大生息地が確認されているが、上記3都県以外ではほとんど採集されていないという特異な分布を示しているクモである。世界的に見ても、本種の所属するカネコトタテグモ科のクモは、アメリカ大陸の太平洋岸地域と、日本にしか分布しておらず、生物地理学上の重要種とされている。当調査地では5頭の生息を確認した。

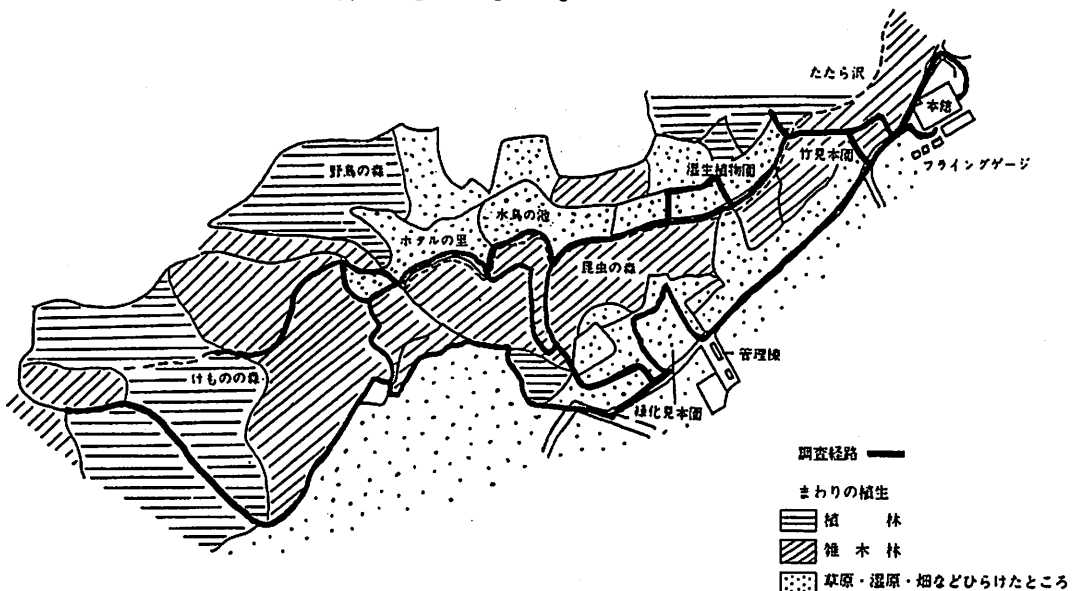


図1 調査経路とまわりの植生

◦キノボリトタテグモ (写真1、2)

樹木の表面をけずって凹みをつけ、そこに袋状の住居を作る。住居の表面には苔や樹皮をはり付けてカムフラージュする。入口には扉を付けて、外敵が来た場合には扉を内側に強く引いて開かないようにする。1月平均気温2℃以南の地域に広く分布しているが、個体数は激減しており、環境庁レッドデータブックの希少種に指定されている。今回の調査では昆虫の森で1頭確認されている。

◦シロカネイソウロウグモ

コガネグモ、ジョロウグモ、オニグモなどコガネグモ科のクモの網の中で生息し、網の主が食べられないような小さな昆虫を捕食するが、時には網の主が食べている獲物を反対側より食べている場面も見られる。

15年程前は当調査地周辺では極めて珍しいクモであったが、今回の調査では多数の個体が採集された。本種は明瞭な北上傾向を示しており、現在埼玉県側の利根川岸まで北上が確認されている。

◦トビシロイソウロウグモ (写真3)

前種同様北上傾向を示しているクモであるが、個体数は少なく、15年前には神奈川県内ではほとんど発見されなかった種類である。主にアシナガグモ科のクモの水平円網に侵入し、網の主が食べていない小昆虫を捕食する。今回はたたら沢沿いの樹間に造網しているオオシロカネグモの網から5頭採集された。

◦オダカグモ (写真4)

神奈川県内での記録は現在まで2回(飯山、上谷戸)という重要種である。常緑広葉樹の葉裏に不規則網を張ることが多いが、今回は本館裏門脇のサクラの葉裏にて採集(1頭のみ)された。全国的にみても希少種に数えられており、現在までの産地は10か所程度である。

◦キシロオヒキグモ (写真6)

神奈川県内での記録は7回。オダカグモに次ぐ重要種であるが、当調査地では1979年にスギ採穂園にて採集されて以来確認されていない。薄暗い樹間に垂直円網を張り、クモは網の中心に静止する。

◦トリノフンダマシ類

山麓の林縁部に生息する環境指標種の代表的種類。昼間は葉裏に止まり、脚を縮めて動かず、夕方から夜間にかけて活動し、大型(直径50～150cm)の同心円状の水平円網を、ガの活動時間に合わせるように張る。獲物は主にヤガの類で、網及びクモの体よりガの雄を誘引するガの雌が出す性フェロモンと同種の誘引物質を出していると考えられている。良好な自然環境が残されている場所に生息し、環境が悪化するとすぐ姿を消してしまうところから、環境指標種として重視されている。当調査地内からは、トリノフンダマシ、オオトリノフンダマシ、シロオビトリノフンダマシの3種が記録されている。

○スズミグモ (写真7、8)

傾斜地の風通しの良い樹間に大型 (直径30~50cm) のドーム状のキヌ網 (細かい網目で形成された網) を張り、網の上下には多数の糸を引きまわす。網には粘性は無く、速いスピードで飛ぶ昆虫が糸にからまって捕らえられる。

本種は1980年以前は静岡県大井川が北限 (東限) とされ、神奈川県において採集される可能性は無いと考えられていた種類であるが、1980年7月に横浜市港南区北部において最初の1頭 (谷川明男採集) が記録されて以来、小田原市、二宮町、山北町、秦野市、平塚市、横浜市緑区、川崎市と次々に確認され、現在まで14年間で丹沢を除く神奈川県ほぼ全域に生息を広げるという急速な北上を示し、1992年にはついに東京 (八王子市) で採集されている。当調査地内では1992年8月に唐沢良子氏により竹見本園北側のスギの樹間で1頭確認されており、今後最も注意を要するクモということができる。

○アシナガカニグモ

神奈川県内の記録は5頭前後と思われる。本州南岸線以南に広く分布しているが、個体数は全国的に見ても非常に少ない。草本の花や葉の間に生息し、飛来して来る訪花性昆虫を捕らえる。今回の調査では湿生植物園において1頭採集された。

野外施設の環境別による出現種の概略

竹見本園

石段の両側にある小さな崖にはジグモ、ヤチグモ、ハツリグモが、崖の上部の低木にはマネキグモ、ヨツデゴミグモが生息している。林業試験場のスギ林、および竹見本園の樹間には、オオシロカネグモ、ジョロウグモ、クサグモ、チリイソウロウグモ、ゴミグモ等がよく見られる。重要種であるスズミグモも1頭確認されている。

竹見本園から湿生植物園に下る坂道

当坂道はスギ見本園の北側に位置しているため日当りはまったく悪い。坂道の一方には崖並びに土止めのための木柵があり、崖地にはナンブコツブグモ、ヘリジロサラグモ、カタハリウズグモ、ヤチグモ等が混在し、木柵の間にはカネコトタテグモ、カチドキナミハグモ、メガネヤチグモなど地中性、地表性のクモの住居が見られる。

湿生植物園、水鳥の池

湿地化している所にはアシ、ガマ、ツリフネソウ等の植物が見られ、それらの植物を利用してアシナガグモ、ヤサガタアシナガグモ、ナガコガネグモ、コガネグモ、サツマノミダマシ、ワキグロサツマノミダマシ等が円網を張っている。植物上にはササグモ、ハナグモ、オスクロハエトリ、ヤハズハエトリ、ヤマトコマチグモ、ヒメフクログモ等の姿や住居が見られる。水面上または水面付近の植物上には多数のスジプトハシリグモが走りまわり、その中に混じってイオウイロハシリグモ、スジアカハシリグモが目撃される。湿生植物園と北側の野鳥の森の林縁にはオオシロカネグモ、キララシロカネグモ、メガネドヨウグモ、トリノフンダマシ、オオトリノフンダマシ、コゲチャオニグモ、コガタコガモグモ、ジョロウグモ等、多数の造網性クモ類が生息している。

昆虫の森

クヌギ、コナラ、ミズキ、アラカシ等の雑木林で樹間にはジョロウグモ、低木、下草にはコシロカネグモ、コクサグモ、ヤマヤチグモ、アシナガサラグモ等が見られる。また樹木の枝の間にはカグヤヒメグモ、枝先にはクスミサラグモ、ムネグロサラグモが造網している。崖地にはカネコタテグモ、下草の地表付近にはアズマヤチグモ、ヘリジロサラグモ、樹皮面にはデーニッツハエトリの姿も見ることができる。

たたら沢

沢の両側の植物間にはアシナガグモ、オオシロカネグモが群生し、葉上にはイオウイロハシリグモ、ハナグモ、ワカバグモが、葉の間にはバラギヒメグモ、ヒメグモ、アシプトヒメグモの不規則網が見られる。水面に落ちている枝や水面付近の植物の間にはヨリメグモ、ナルコグモが生息し、いずれも水面上に網を張っている。

摘 要

自然保護センター周辺並びに野外施設に生息しているクモ類の調査を実施した結果、31科186種が確認された。この種数は南関東丘陵部の年間調査平均種数146種より40種多く、当調査地の自然環境が良好な形で保たれていることを示している。注目種としてはカネコタテグモ、キノボリトタテグモ、シロカネイソウロウグモ、トビジロイソウロウグモ、オダカグモ、キジロオヒキグモ、スズミグモ、トリノフンダマシ類3種、アシナガカニグモの11種が挙げられる。この中でオダカグモ、キジロオヒキグモ、アシナガカニグモは全国的にも採集記録は少なく、レッドデータブックの危急種に近い重要種と考えられる。

文 献

- 千国安之輔 1989 : 写真日本クモ類大図鑑 309 pp 偕成社 東京
 KAMURA, T. 1987 : Three species of the genus *Drassyllus* (Araneae : Gnaphosidae) from Japan Acta arachnol., 35 : 77 - 88
 熊田憲一・谷川明男 1992 : 神武寺のクモ Kishidaia (63) : 49 - 56
 OI, R. 1960 : Linyphiid spiders of Japan J. Inst. Polytech. Osaka City Univ., (D), 11 : 137 - 244, pls. 1 - 26
 笹岡文雄 1989 : 丹沢・大倉周辺のクモ Kishidaia (58) : 64 - 71
 新海栄一 1977 : 日本における南北各系統種の分布について Atypus (70) : 46 - 47
 新海栄一・蓮沼克己 1983 : 高尾山のクモ Kishidaia (50) : 27 - 33
 新海栄一・高野伸二 1987 : クモ基本50 128 pp 森林書房 東京
 TANAKA, H. 1974 : Japanese wolf spiders of the genus *Pirata*, with descriptions of five new species (Araneae : Lycosidae) Acta arachnol., 26:22-45, pls. 1 - 3

今回の調査により生息が確認されたクモ類の調査リストを示す。

Antrodiaetidae カネコトタテグモ科

Antrodiaetus roretzii (L. Koch) カネコトタテグモ

Ctenizidae トタテグモ科

Ummidia fragaria (Dönitz) キノボリトタテグモ

Atypidae ジグモ科

Atypus karschi Dönitz ジグモ

Uloboridae ウズグモ科

Miagrammopes orientalis Bö. et Str. マネキグモ

Uloborus sybotides Bö. et Str. カタハリウズグモ

Segestriidae エンマグモ科

Ariadna lateralis (Karsch) ミヤグモ

Segestria nipponica Kishida コマツエンマグモ

Pholcidae ユウレイグモ科

Pholcus crypticolens Bö. et Str. ユウレイグモ

Mimetidae センショウグモ科

Ero japonica Bö. et Str. センショウグモ

Theridiidae ヒメグモ科

Achaearanea angulithorax (Bö. et Str.) ツリガネヒメグモ

A. culicivora (Bö. et Str.) カグヤヒメグモ

A. japonica (Bö. et Str.) ヒメグモ

A. tabulata Levi オオツリガネヒメグモ

A. tepidariorum (C. Koch) オオヒメグモ

Anelosomus crassipes (Bö. et Str.) アシプトヒメグモ

Argyrodes bonadea (Karsch) シロカネイソウロウグモ

A. cylindratus Thorell トビジロイソウロウグモ

A. cylindrogaster (Simon) オナガグモ

A. fissifrons O. P. Cambridge チリイソウロウグモ

A. fur Bö. et Str. フタオイソウロウグモ

A. nipponicus Kumada ツノナガイソウロウグモ

A. saganus (Dön. et Str.) ヤリグモ

Chryso argyrodiformis (Yaginuma) オダカグモ

<i>C. punctifera</i> (Yaginuma)	ホシミドリヒメグモ
<i>Coleosoma octomaculatum</i> (Bös. et Str.)	ヤホシサヤヒメグモ
<i>Dipoena mustelina</i> (Simon)	カニミジグモ
<i>D. okumae</i> Yoshida	クロミジグモ
<i>D. punctisparsa</i> Yaginuma	シモフリミジグモ
<i>Enoplognatha transversifoveata</i> (Bös. et Str.)	カレハヒメグモ
<i>Episinus nubilus</i> Yaginuma	ムラクモヒシガタグモ
<i>Phoroncidia pilila</i> (Karsch)	ツクネグモ
<i>Steatoda cavernicola</i> (Bös. et Str.)	ハンゲツオスナキグモ
<i>Theridion chikunii</i> Yaginuma	バラギヒメグモ
<i>T. latifolium</i> Yaginuma	ヒロハヒメグモ
<i>T. lyricum</i> Walckenaer	シモフリヒメグモ
<i>T. sterninotatum</i> Bös. et Str.	ムナボシヒメグモ
<i>T. subadultum</i> Bös. et Str.	コケヒメグモ
<i>Nesticus mogera</i> Yaginuma	チビホラヒメグモ

Linyphiidae サラグモ科

<i>Aprifrontalia muscula</i> (Karsch)	コサラグモ
<i>Asperthorax communis</i> Oi	ザラアカムネグモ
<i>Bathyphantes tateyamaensis</i> (Oi)	タテヤマテナガグモ
<i>Diplocephaloidae saganus</i> (Bös. et Str.)	ハラジロムナキグモ
<i>Doenitzius peniculus</i> Oi	デーニッツサラグモ
<i>Erigonidium naniwaense</i> Oi	ナニワナンキングモ
<i>Gonatum japonicum</i> Simon	ヤマトケズネグモ
<i>Linyphia oidedicata</i> (Helsdingen)	ヘリジロサラグモ
<i>Neolinyphia fusca</i> Oi	クスミサラグモ
<i>N. japonica</i> Oi	ツリサラグモ
<i>N. nigripectoris</i> Oi	ムネグロサラグモ
<i>Prolinyphia longipedella</i> (Bös. et Str.)	アシナガサラグモ
<i>P. yunohamensis</i> (Bös. et Str.)	ユノハマサラグモ
<i>Nematogmus sanguinolentus</i> (Walckenaer)	チビアカサラグモ
<i>Ostearius melanopygius</i> (O. P. Cambridge)	スソグロサラグモ
<i>Ummeliata osakaensis</i> (Oi)	オオサカアカムネグモ
<i>U. tokyoensis</i> (Uyemura)	トウキョウアカムネグモ

Theridiosomatidae カラカラグモ科

<i>Ogulnius pullus</i> Bös. et Str.	ヤマジグモ
<i>Theridiosoma epeiroides</i> Bös. et Str.	カラカラグモ
<i>Wendilgarda</i> sp.	ナルコグモ

Anapidae ヨリメグモ科

Conoculus lyugadinus Komatsu ヨリメグモ

Mysmenidae コツブグモ科

Mysmenella jobi (Kraus) ナンプコツブグモ

Araneidae コガネグモ科

Acuilas coccineus Simon ハツリグモ
Arachnura logio Yaginuma キジロオヒキグモ
Araneus abscissus (Karsch) キザハシオニグモ
A. cornutus Clerck ナカムラオニグモ
A. ejusmodi (Bös. et Str.) ヌサオニグモ
A. macacus Uyemura ヤエンオニグモ
A. pentagrammicus (Karsch) アオオニグモ
A. pseudocentroides (Bös. et Str.) トガリオニグモ
A. semilunaris (Karsch) マルツメオニグモ
A. viridiventris Yaginuma ハラヒロミドリオニグモ
A. vetricosus (L. Koch) オニグモ
A. viperifer Schenkel カラオニグモ
Neoscona adianta (Walckenaer) ドヨウオニグモ
N. fuscocolorata (Bös. et Str.) ヤミイロオニグモ
N. mellottei (Simon) ワキグロサツマノミダマシ
N. scylloides (Bös. et Str.) サツマノミダマシ
N. scylla (Karsch) ヤマシロオニグモ
N. punctiger (Doleschall) コゲチャオニグモ
Araniella sp. ムツボシオニグモ
Yaginuma sia (Strand) ズグロオニグモ
Zilla astridae (Strand) サガオニグモ
Z. sachalinensis (S.Saito) カラフトオニグモ
Argiope amoene L. Koch コガネグモ
A. boesenbergi Levi チュウガタコガネグモ
A. bruennichii (Scopoli) ナガコガネグモ
A. minuta Karsch コガタコガネグモ
Chorizopes nipponicus Yaginuma ヤマトカナエグモ
Cyclosa argenteoalba Bös. et Str. ギンメッキゴミグモ
C. monticola Bös. et Str. ヤマゴミグモ
C. octotuberculata Karsch ゴミグモ
C. sedeculata Karsch ヨツデゴミグモ
Cyrtarachne bufo (Bös. et Str.) トリノフンダマシ
C. inaequalis Thorell オオトリノフンダマシ

<i>C. nagasakiensis</i> Strand	シロオビトリノフンダマシ
<i>Cyrtophora moluccensis</i> (Doleschall)	スズミグモ
<i>Hypsosinga sanguinea</i> (C. Koch)	シロスジショウジョウグモ
<i>Nephila clavata</i> L. Koch	ジョロウグモ
<i>Poltys illepidus</i> C. Koch	ゲホウグモ

Tetragnathidae アシナガグモ科

<i>Metleucauge yunohamensis</i> (Bös. et Str.)	メガネドヨウグモ
<i>Leucauge magnifica</i> Yaginuma	オオシロカネグモ
<i>L. subblanda</i> Bös. et Str.	コシロカネグモ
<i>L. subgemmea</i> Bös. et Str.	キララシロカネグモ
<i>Tetragnatha maxillosa</i> Thorell	ヤサガタアシナガグモ
<i>T. praedonia</i> L. Koch	アシナガグモ
<i>T. squamata</i> Karsch	ウロコアシナガグモ
<i>T. vermiformis</i> Emerton	シコクアシナガグモ

Urocteidae ヒラタグモ科

<i>Uroctea compactilis</i> L. Koch	ヒラタグモ
------------------------------------	-------

Agelenidae タナグモ科

<i>Agelena limbata</i> Thorell	クサグモ
<i>A. opulenta</i> L. Koch	コクサグモ
<i>Coelotes Corasides</i> (Bös. et Str.)	ヤマヤチグモ
<i>C. exitialis</i> L. Koch	ヤチグモ
<i>C. kitazawai</i> Yaginuma	アズマヤチグモ
<i>C. luctuosus</i> L. Koch	メガネヤチグモ

Cybaeidae ナミハグモ科

<i>Cybaeus nipponicus</i> (Uyemura)	カチドキナミハグモ
-------------------------------------	-----------

Hahniidae ハタケグモ科

<i>Hahnica corticicola</i> Bös. et Str.	ハタケグモ
---	-------

Pisauridae キシダグモ科

<i>Dolomedes pallitarsis</i> Dön. et Str.	スジプトハシリグモ
<i>D. raptor</i> Bös. et Str.	アオグロハシリグモ
<i>D. saganus</i> Bös. et Str.	スジアカハシリグモ
<i>D. sulfureus</i> L. Koch	イオウイロハシリグモ
<i>Pisaura lama</i> Bös. et Str.	アズマキシダグモ

Lycosidae コモリグモ科

<i>Arctosa ebicha</i> Yaginuma	エビチャコモリグモ
<i>A. fujiii</i> Tanaka	フジイコモリグモ
<i>Hygrolycosa umidicola</i> Tanaka	シッチコモリグモ
<i>Pardosa astrigera</i> L. Koch	ウツキコモリグモ
<i>P. brevivulva</i> Tanaka	ヤマハリゲコモリグモ
<i>P. laura</i> Karsch	ハリゲコモリグモ
<i>Pirata clerki</i> (Bös. et Str.)	クラークコモリグモ
<i>P. procurvus</i> (Bös. et Str.)	チビコモリグモ
<i>Trochosa ruricola</i> (De Geer)	アライトコモリグモ

Oxyopidae ササグモ科

<i>Oxyopes badius</i> Yaginuma	クリチャササグモ
<i>O. sertatus</i> L. Koch	ササグモ

Clubionidae フクログモ科

<i>Chiracanthium eutittha</i> Bös. et Str.	アシナガコマチグモ
<i>C. japonicum</i> Bös. et Str.	カバキコマチグモ
<i>C. lascivum</i> Karsch	ヤマトコマチグモ
<i>C. unicum</i> Bös. et Str.	ヤサコマチグモ
<i>Clubiona japonica</i> L. Koch	ヤマトフクログモ
<i>C. jucunda</i> (Karsch)	ヤハズフクログモ
<i>C. kurilensis</i> Bös. et Str.	ヒメフクログモ
<i>C. lena</i> Bös. et Str.	トビイロフクログモ
<i>C. tsurusakii</i> Hayashi	ツルサキフクログモ
<i>C. vigil</i> Karsch	ムナアカフクログモ

Liocranidae ウエムラグモ科

<i>Itatsina praticola</i> (Bös. et Str.)	イタチグモ
<i>Phrurolithus nipponicus</i> Kishida	ウラシマグモ

Corinnidae ネコグモ科 (新称)

<i>Trachelas japonicus</i> Bös. et Str.	ネコグモ
---	------

Anyphaenidae イツツグモ科

<i>Anyphaena pugil</i> Karsch	イツツグモ
-------------------------------	-------

Ctenidae シボグモ科

<i>Anahita fauna</i> Karsch	シボグモ
-----------------------------	------

Heteropodidae アシダカグモ科

Heteropoda forcipata (Karsch) コアシダカグモ

Gnaphosidae ワシグモ科

Cladothela oculinotatas (Bös. et Str.) チャクロワシグモ
Drassyllus sanmenensis Platnick et Song エビチャヨリメケムリグモ
Gnaphosa kompirensis Bös. et Str. メキリグモ

Philodromidae エビグモ科

Philodromus auricomus L. Koch キンイロエビグモ
P. spinitarsis Simon キハダエビグモ
P. subaureolus Bös. et Str. アサヒエビグモ
Tibellus tenellus (L. Koch) シャコグモ
Thanatus miniaceus Simon ヤドカリグモ

Thomisidae カニグモ科

Bassaniana decorata (Karsch) キハダカニグモ
Diaea subdola O. P. Cambridge コハナグモ
Heriaeus mellottei Simon アシナガカニグモ
Lysiteles coronatus (Grube) アマギエビスグモ
Misumenops tricuspidatus (Fabricius) ハナグモ
M. kumadai Ono クマダハナグモ
Oxytate striatipes (L. Koch) ワカバグモ
Thomisus labefactus Karsch アズチグモ
Tmarus piger (Warckenaer) トラフカニグモ
T. rimosus Paik セマルトラフカニグモ
Xysticus croceus Fox ヤミイロカニグモ

Salticidae ハエトリグモ科

Carrhotus xanthogramma (Latreille) ネコハエトリ
Euophrys undulatovittata Bös. et Str. イナヅマハエトリ
Euophrys sp. カタオカハエトリ
Evarcha albaria (L. Koch) マミジロハエトリ
Harmochirus brachiatus (Thorell) ウデフトハエトリ
H. pullus (Bös. et Str.) キレワハエトリ
Laufeia aenea Simon エキスハエトリ
Hyctia elongata (Karsch) ヤハズハエトリ
H. magister (Karsch) オスクロハエトリ
Marpissa pulla (Karsch) ヨダンハエトリ
Menemerus confusus Bös. et Str. シラヒゲハエトリ

<i>Phintella abnormis</i> (Bös. et Str.)	チャイロアサヒハエトリ
<i>P. linea</i> (Karsch)	メガネアサヒハエトリ
<i>Plexippoides annulipedis</i> (S. Saito)	マダラスジハエトリ
<i>P. doenitzi</i> (Karsch)	デーニッツハエトリ
<i>Rhene atrata</i> (Karsch)	カラスハエトリ
<i>Silerella vittata</i> (Karsch)	アオオビハエトリ
<i>Yaginumanis sexdentatus</i> (Yaginuma)	ムツバハエトリ
<i>Myrmarachne inermichelis</i> Bös. et Str.	ヤサアリグモ
<i>M. japonica</i> (Karsch)	アリグモ



写真1 (上左)

キノボリタテグモ(♀)
と卵のう。住居(巣)
を切り開いたところ。

写真2 (上右)

キノボリタテグモの住
居(巣)。

写真3 (中)

トビジロイソウロウグ
モ(♀)

写真4 (下)

オダカグモ(♀)

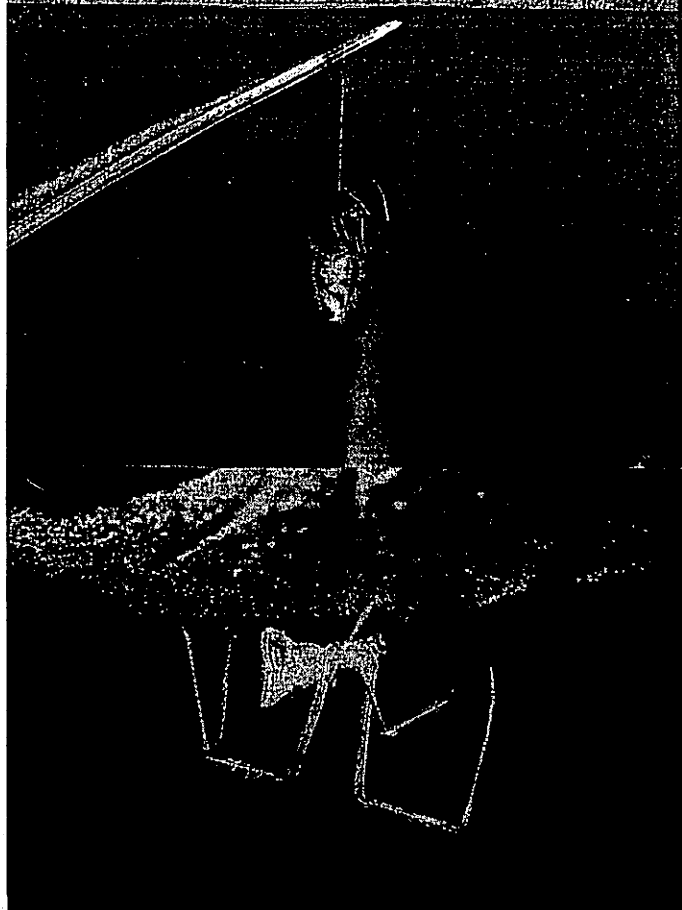




写真5 (上)
水面上に張られたヨリメグモ
の網



写真6 (中)
キジロオヒキグモ (♀)



写真7 (下左)
スズミグモのドーム網

写真8 (下右)
スズミグモ (♀)

